

## 会議録

会議の名称	令和5年度 第2回座間市地域包括ケア会議及び在宅医療推進協議会		
開催日時	令和5年 7月 11日(火) 18時30分～20時15分		
開催場所	オンライン		
出席者	棕本委員、小林委員、石黒委員、吉永耕子委員、藤川委員、樋口委員 筒井委員、飯塚委員、吉田委員、松山委員、内海委員、松永第1層生活 支援コーディネーター、遠藤第一層生活支援コーディネーター、 座間市在宅医療連携支援室 比留川室長、大森相談員、野中相談員 地域福祉課 林課長、介護保険課 古川介護認定係長		
事務局	福祉部長寿支援課長寿支援係 小林係長、浅井主事 会計年度任用職員 嶋崎、福澤		
会議の公開可否	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由	座間市保健医療福祉サービス介入ネットワーク要領第4条第2項によるため		
議題	議題1 座間市地域在宅医療・介護連携支援室より活動報告、今後の予定について 議題2 各事業者連絡会から連絡、報告 議題3 「人生会議」の普及について意見交換 議題4 その他		
資料の名称	1 令和5年度第1回座間市地域包括ケア及び在宅医療推進協議会会議次第 2 住宅確保要配慮者に対する居住支援機能のあり方について		
会議の結果			
支援室	議題1 座間市地域在宅医療・介護連携支援室より活動報告、今後の予定について 在宅医療・介護連携支援室から活動報告及び今後の予定について報告 ・令和5年度の研修は4回開催予定。第1回は薬剤師協会の協力を得て薬をテーマに、第2回は独居の方の支援をテーマに実施予定。市民向け研修として昨年度に続き「人生会議」をテーマに開催予定。引き続き研修テーマを募集しているため提案してほしい。		
委員	在宅に訪問すると低栄養の方が多いと感じる。低栄養だとリハビリの効果が出にくいばかりか、さらなる筋力低下、機能低下さらにはADL、QOL低下を招くリスクがある。在宅でも栄養面についての相談やケアでき		

委員	<p>る体制あったらいいと感じる。</p>
委員	<p>栄養については、血液検査の他にどんな評価指標があるのか興味深い。</p>
委員	<p>低栄養だけではなく、入所してから体重が増える方もいる。味付けや量の調整についても考えていかななくては。</p>
委員	<p>食事に気を付けているという話は聞いてもそれ以上は踏み込めない。食事量と薬の量の調整は本人や家族には難しい場合がある。知識を持った栄養士が介入してくれると助かる場面が多い。</p>
委員	<p>議題2 各事業者連絡会から連絡、報告 通所系介護事業所連絡会、歯科医師会、ケアマネ協会、座間市リハビリテーション連絡会、座間市在宅医療連携連絡会から報告</p>
事務局	<p>議題3 「人生会議」の普及について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの場面における座間市の目指すべき姿について</li> <li>・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築に向けた評価シートの回答内容振り返り</li> <li>・看取り以外の場面については支援室の協力で様々な取組が進んでいる。</li> <li>・人生の最終段階の意思決定手段として人生会議を普及していくかについて意見交換</li> </ul>
委員	<p>在宅での看取りをやってご家族がとても満足してくれて、本当に在宅の看取りって素敵だと感じる。看取りについてしっかり理解することが大切で、みんなで自分の最期について考えるようになることはとてもいい。普及活動は必要だと思う。</p>
委員	<p>初回の面談時に“最期どうしたいか”を聞いている。家族ではなく本人の意思を確認している。元気なうちに意思決定をすることの大切さを感じている。普及活動もやっていきたい。</p>
委員	<p>包括がACPに関わるケースは大きく3つ。一つは最末期の場合。認定申請をして間に合うか、スピード勝負でなるべく本人が望む環境を整える。2つ目は難病の方。今すぐではないけどいずれはというケース。3つ目は元気な方。こういう方達に包括は普及していくんだと思う。</p>
委員	<p>ACPを推進するツールが必要だと思う。座間市版人生会議ノートを作成して発行の準備をしている。今後医師会や歯科医師会に案内や意見をいただきに行く機会があると思う。</p>
介護保険課	<p>最末期で介護保険の認定申請をする際は間に合わず亡くなってしまうと</p>

<p>支援室</p>	<p>給付ができないため、必ず間に合うということではないが一言その旨を伝えてほしい。</p> <p>勇美財団で在宅医療に関して一般市民向けに普及啓発をする場合30万円までの補助が出るというものがあり、申請をした。選考結果は秋頃に出る予定なのでまた報告する。補助金で人生会議に関するリーフレットやもしばなカードの購入を考えている。活用方法についてはまた意見を出してほしい。</p>
<p>事務局</p> <p>地域福祉課</p>	<p>議題4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT（バイタルリンク導入の経緯、今後の方針）及び介護保険第9期事業計画について</li> <li>・住宅確保要配慮者に対する居住支援機能のあり方に関する検討会について</li> <li>・住宅確保要配慮者について説明</li> <li>・8月1日取組報告含むプレゼンの機会にむけて医療介護現場の意見募集</li> </ul> <p><b>【次回】</b></p> <p>(在宅) 9月12日(火) 18時30分～ ハーモニーホール座間</p>